



2026年度担当教員と研究・教育の領域、主要著書、論文、作品等



【教授】
畔上 直樹
(あぜがみ なおき)
naoki@juen.ac.jp

社会科内容学(歴史)を担当。歴史学(日本近現代史・地域社会史)。20世紀前半を中心に、近代と現代をつなぐ時代について、世界的視野のもと日本史像の捉え直しを試みている。著書:『村の鎮守』と戦前日本(単著 有志舎)、『明治神宮以前・以後』(共編著 鹿島出版会)『日本宗教史3宗教の融合と分離・衝突』(共著 吉川弘文館)等。



【教授】※1
茨木 智志
(いばらき さとし)
ibarak@juen.ac.jp

社会科教育学を担当。特に歴史教育の理論的・実践的研究。歴史教育の歴史および国際比較の研究、世界史教育などを研究領域とする。『戦後教育改革期における高校社会科「世界史」の成立過程に関する研究』(風間書房)、共著『歴史学者と読む高校世界史』(勁草書房)、共著『World History Teaching in Asia』(Berkshire)等。元公立高校教員。



【教授】
小島 伸之
(こじま のぶゆき)
kojima@juen.ac.jp

社会科内容学(公民:法学・政治学・社会学)を担当。憲法・日本近代法史・宗教社会学を専攻。研究テーマは、人権論、国家論、政教関係、教育の中立性、アニメにおける戦争観など。著書として、共編著『近現代日本の宗教変動』(ハーベスト社)、共編著『巨大ロボットの社会学』(法律文化社)他。



【教授】
山縣 耕太郎
(やまがた こうたろう)
kotaro@juen.ac.jp

社会科内容学(地理)を担当。自然地理、環境変遷史、人と自然との関わり、災害、地生態、防災教育などについて、地理学的な見地から研究を行っている。主要著書:『アフリカ自然学』、『百名山の自然学』、『地域と地理教育』、『アンデス自然学』、『アフリカ学事典』、『近年の自然災害と学校防災(2)、(3)』他(いずれも共著)。元附属中学校長。



【教授】
吉田 昌幸
(よしだ まさゆき)
yoshida@juen.ac.jp

社会科内容学(公民:経済学)を担当。経済学を専攻。経済思想や地域通貨、ゲーミング・シミュレーションを通じて、地域経済や経済進化の研究、経済教育の手法開発を行う。著書として、単著『企業家像の経済思想』(専修大学出版局)、『現代の経済思想』(勁草書房)『地域通貨によるコミュニティドック』(専修大学出版会)(いずれも共著)などがある。



【准教授】
橋本 暁子
(はしもと あきこ)
akiko@juen.ac.jp

社会科内容学(地理)を担当。専門分野は地誌学。ある地域の特徴とそこに住む人びとの生活とのかかわりを研究する。主な論文:『釜山市における在来市場の特徴』『茨城地理』14、『韓国地方都市における商業地域の調査方法とデータベース化』『地理空間』10など。



【助教】
大場 あや
(おおば あや)
oaya@juen.ac.jp

社会科内容学(宗教学)を担当。専門は宗教社会学。地域社会における人の移動と葬送文化の変容、つながりの再編について日本やカナダの事例から研究している。主な著書:単著『葬制変容と生活改善』(春風社)、共著『森岡清美の宗教社会学』(法蔵館)、共著『無縁社会の葬儀と墓』(吉川弘文館)など。

